



地域づくりの取り組みを紹介します Part2

本市では、「私たちのまちは、私たちの手で」をキャッチフレーズに、地域づくりを推進しています。今回は、協働で進めるまちづくりについてや各地域の取り組みを紹介します。

協働で進めるまちづくり

本市では、「鈴鹿市まちづくり基本条例」に基づき、市民と協働して地域の課題解決に取り組む、「住民主体のまちづくり」を推進しています。

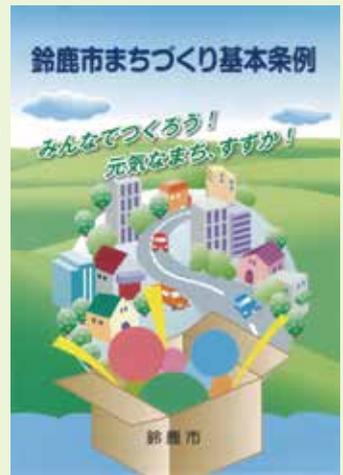
少子高齢化や災害など、さまざまな課題に対応するためには、自助・共助・公助の考えのもと、行動することが大切です。

現在市内では、市民、団体、企業、学生、行政など、「住みよい鈴鹿」を目指す皆さんによって、つながりを生かした協働の取り組みが行われています。



鈴鹿市まちづくり基本条例って？

みんなで協働して、活力のある住みよいまちをつかっていくための本市のまちづくりの基本となる条例です。まちづくりについての基本原則やルールが定められています。



地域の課題を解決するための 協働

本市は、地域の課題解決に向けて取り組む過程で、地域づくり協議会や市民活動団体、企業、学生、行政などが、話し合ったり、一緒に考えたり、協力し合ったりしながら、役割と責任を分担して取り組む「協働」を目指します。

協働のプロセス

話し合う

一緒に考える

役割分担する

協力する

課題解決



広報すずか2月5日号情報館(P8・9)で、「地域づくり」や「地域づくり協議会」などについてお知らせしています。



市ホームページでもご覧いただけます。



すずか市民活動
情報広場

地域づくり協議会や市民活動団体に関する情報やイベントについてお知らせしています。ぜひご覧ください。

Check /



今年度実施された **協働** による 地域づくりの活動を紹介します

神戸まちづくり協議会×神戸高校×神戸小学校

神戸公園イルミネーションプロジェクト

地元高校生の「コロナ禍でも地域住民の交流を深め、まちを明るくしたい」との思いをもとに、神戸まちづくり協議会、神戸高校、神戸小学校が協働して実施した「神戸公園イルミネーションプロジェクト」。神戸公園の木などにLED電球約1万球と神戸小学校児童が描いたイラストを装飾することで、地域住民の交流の場になりました。



神戸高校生の呼び掛けのおかげで、たくさんの方に参加していただきました。学生をはじめ、地域の皆さんが集まり、地域が賑わったことから、来年は、もっとグレードアップさせたいと思っています。



和の街箕田地域づくり協議会×箕田小学校

地域と小学校の合同防災訓練事業

災害に備えるための協議会の取り組みとして、地域住民が箕田小学校の防災訓練に参加しました。地域全体で防災訓練を行うことで、子どもたちだけでなく、家族や地域住民も防災について考えるきっかけとなりました。



今後も小学校の防災訓練に地域住民が参加できるようにしたいと思います。また、まちを元気に盛り上げていくためにも、子育てしやすく、子どもたちを守ることができるまちにしていきたいです。



天名まちづくり協議会×天名地区住民

天名歴史探索マップ

地域住民の郷土愛を育むとともに、地域外の方へ天名の歴史や文化、魅力を発信するために「天名歴史探索マップ」を発行。制作に当たっては、地域住民全世帯へ意見を求めるなど、多くの方が関わり、思いを込めたマップになりました。

ウォーキングイベントに活用するなど、天名の魅力を知ってもらう一助となっています。



天名歴史探索マップを見て「今まで知らなかった」「知れてよかった」などの声を聞きます。今後も、皆さんが地域に愛着を持って、住んでいて良かった、住み続けたいと思えるまちにしていきたいです。

